

# 西光寺だより

第一八九号 令和八年 五月一日発行

新緑が美しく穏やかな風の吹く五月になりました。「目に青葉 山ほととぎす 初鰯」そんな句が思い浮かんでまいります。

今月五月二十一日は阿弥陀さまの大きなお慈悲とお念仏の大切さを教えてくださった親鸞聖人の御誕生の月でもあります。

京都西本願寺では五月二〇日(火)二十一日(水)両日、宗祖降誕会が修行されます。両日は、祝賀能や抹茶接待など華やかな催しが行われ、ご誕生をお喜びいたします。

また二十一日(水)十一時三〇分〜十二時に御影堂にて、法要の雅楽「浄土の音色」とも言われている演奏があります。全国から集まった約三〇の雅楽団体・約一五〇人による、国内最大規模の雅楽演奏が行われ、どなたでもご自由にお越しいただけます。

人それぞれには誕生日があります。この世に生を受けた日です。生まれてくれてありがとう。そして出会ってくれてありがとう。

この繋げていただきたいのちに感謝し、今をしつかりと生きていきたいと思えます。



浄土真宗本願寺派 白毫山 西光寺

大阪府茨木市西河原一七七一

電話 〇七二一六二二一四七九四

FAX 〇七二一六二二一九二九一

<http://www.osaka-saikouji.net/>

## ◆先月の報告◆

①四月八日(水) 追弔会・春季永代経法要を厳修いたしました。

本日は午後一時三〇分より、松田家開關法要が執り行われ、引き続きましての追弔会・春季永代経法要をお勤めいたしました。

開關法要とは、施主の方が西光寺に永代にわたって読経をすることを形にされたものであります。本日より毎日この西光寺にて、亡き方をご縁に感謝のお勤めをいたします。

お母さまの松田静子さまの院号法名を述べさせていただきます、皆さんでお焼香・お勤めをいたしました。また、ご当家さまより御供養を頂戴し、お参りに来られた方にお配りいたしました。

松田家の皆さま、西光寺に貴重なご懇志・ご配慮いただき、誠にありがとうございます。尊いご懇念は、大切に護持に充てさせていただきます。

引き続きまして、昨年度ご往生されました四名の方々の追弔会ならびに春季永代経法要を厳修いたしました。

お仲間のご往生に際し皆さんでお焼香・お勤めをしながら、偲ばせていただいたことでもあります。

こうしてご参拝いただきました皆さま、本当にありがとうございます。ありがとうございました。

その後、ご法話をいただきました。

ご講師は同じ組内のご住職、上田暁成師であります。初めてのご縁をいただきました。昨年度から西光寺におきまして永代経・報恩講法要において午後二時のお昼のお座のみご法話をしていたことになり、本日もお昼のご縁をいただきました。

阿弥陀さまのお話をはじめ私たちに届くはたらきについてのお話が印象的でありました。

阿弥陀さまという仏さまは私たちをお救いいただく時、こちらが何

かしてではなく、『何もなくてもいいよ、そのまま救う』とお示し下さっている仏さま。その仏さまを知るにはこの時期の季節にたとえられお話しくださいました。

春という季節はやってきます。けれど春のはたらきは目で見ることはできません。春という時期に綺麗な桜が咲くことや入学式や卒業式という行事を通して感じる事ができる。

阿弥陀さまのはたらきもそうであります。本堂やご家庭にあるお仏壇にご安置されている阿弥陀さまを見ることによって、南無阿弥陀仏というお念仏を称えることによって、そして宗教儀礼として、見たり感じたりできる。

穏やかな春の季節を感じながら、皆さんと過ごす大切な永代経の時間でありました。

ありがとうございました。

合掌



②五月一日（金）午後六時より西光寺本堂にて西光寺講総会を行いました。讚仏偈のお勤めをし、昨年度会計報告、引き続き役員編成と本年度西光寺・茨木東組行事報告を行いました。

それぞれの項目にご意見などいただき、審議ご報告を行いました。本年度もどうぞ皆さまよろしくお願ひ申し上げます。